

【科目名】 コンピューターと人間の接点		【担当教員】 山田 修司							
【授業区分】 教養分野 (情報)		【授業コード】 1-05-0155-0-2		(メールアドレス) syuuyamada@gmail.com					
【開講時期】 1・2 年次 後期		【選択必修】 選択							
【単位数】 2 単位		【コマ数】 15 コマ 来校時に対応							
【注意事項】 (受講者に関わる情報・履修条件) (受講のルールに関わる情報・予備知識)									
【講義概要】 (目的) 人間とコンピューターとの関係がどうあるべきかについて学ぶことにより、技術をどのように活かすべきかを考え、それを具体的なインタフェースとして設計する考え方を身につける。リハビリテーション工学の基礎となる考え方を学ぶ。 (方法) インタフェースという基本概念を、次いで人間について身体・生理的特性、認知的特性を学ぶ。さらに、インタフェース設計のための人間中心設計という考え方を、またここ 30 年程の間に開発されてきた様々な技術について学ぶ。									
【一般教育目標(GIO)】 ・現代社会における情報処理の必要性について理解する。									
【行動目標(SBO)】 ・ネットワーク社会におけるコンピューターの効率的な活用方法を学習する。									
【教科書・リザーブドブック】 駒谷昇一, 辰己丈夫, 楠元範明著「IT Text 情報と職業」(オーム社, 4-274-13266-8) (2002 年) ¥2,500									
【参考書】 必要に応じてその都度紹介									
【評価に関わる情報】 (評価の基準・方法) 成績評価基準は本学学則規定の GPA 制度に従う。 数回課題を出す。課題レポート 80%、授業態度 20%の割合で総合的に評価を行う。									
【達成度評価】		試験	小テスト	レポート	成果発表	実技	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合				80				20	100 点
評価指	取り込む力・知識			40					40
	思考・推論・創造の力			40					40
	コラボレーションとリーダーシップ								

平成 26-28 年度以降入学者用

標	発表力								
	学修に取り組む姿勢							20	20
【授業日程と内容】									
回数	講義内容	授業の運営方法	学修課題(予習・復習)	時間(分)					
1	コンピュータの構成と利用	講義	コンピュータの基本構成について復習する	30					
2	プロセッサの仕組みと周辺装置	講義	プロセッサの仕組みについて復習する	30					
3	情報社会と情報システム	講義	教科書 21 ページの演習問題に取り組む	30					
4	情報化によるビジネス環境の変化	講義	コンビニの情報システムについて復習する	30					
5	情報処理	講義	情報処理の必要性について復習する	30					
6	システム開発の基礎	講義	システム開発の注意点について復習する	30					
7	ビジネスモデル	講義	教科書 54 ページの演習問題に取り組む	30					
8	企業内における情報活用	講義	教科書 97 ページの演習問題に取り組む	30					
9	インターネットの仕組み	講義	インターネットの仕組みについて復習する	30					
10	インターネットビジネス	講義	教科書 121 ページの演習問題に取り組む	30					
11	働く環境と労働観の変化	講義	教科書 143 ページの演習問題に取り組む	30					
12	情報化における犯罪と法制度 (ハイテク犯罪)	講義	ハイテク犯罪に会わない為の心構えをまとめる	30					
13	情報化における犯罪と法制度(セキュリティ対策)	講義	教科書 173 ページの演習問題に取り組む	30					
14	情報化におけるリスクマネジメント	講義	教科書 188 ページの演習問題に取り組む	30					
15	明日の情報社会	講義	教科書 203 ページの演習問題に取り組む	30					

※授業日・教室は随時学生ポータルサイトにて配信します。

※ここに示す学修課題の時間は、必要とする授業外の学修時間(授業時間の3倍)に含むべき時間を示します。